

修士論文（要旨）

2025 年 1 月

中国三線都市近郊農村における高齢者とそのこどもの介護サービス
利用の意向と関連要因
ー河北省廊坊市近郊農村を例にー

指導 中谷 陽明 教授
国際学術研究科
国際学術専攻
老年学学位プログラム
223J5010
劉 璐

Master's Thesis(Abstract)

January 2025

The Intentions and Related Factors of Elderly Care and Service Utilization Among
Elderly People and Their Children in Rural Areas Near Third-Tier Cities in China: A
Case Study of Rural Areas Near LangFang City, Hebei Province

Liu Lu

223J5010

Master of Arts Program in Gerontology

Master's Program in International Studies

International Graduate School of Advanced Studies

J. F. Oberlin University

Thesis Supervisor: Yomei Nakatani

目次

1.はじめに	1
1.1 研究背景	1
1.2 中国高齢化社会の特徴	1
1.3 都市の階層	2
1.4 各階層都市介護サービスの現状	2
1.5 都市近郊農村高齢者福祉に関する研究	3
1.6 なぜ三線都市近郊農村なのか	3
1.7 こどもの扶養意識	4
1.8 研究目的	4
1.9 線中小都市廊坊市の概要	4
2.研究方法	5
2.1 研究対象と方法	5
2.2 調査項目	5
2.3 分析方法	6
3.研究結果	6
3.1 回答者の基本属性、健康状況、介護に関する意識（表1、2）	6
3.2 回答者の基本属性、健康状況、介護意識と介護サービスおよびケアサービス利用希望 および利用させる意向との関係	7
4.考察	19
4.1 高齢者の属性、健康状況、介護に関する意識と介護・ケアサービスを利用意向の考察	19
4.2 こどもの基本属性および扶養意識と親に介護・ケアサービスを利用させる意向の考察	20
4.3 高齢者とそのこども、介護、ケアサービス利用意向の関連性の考察	20
5.おわりに	21

参考文献

表1— 表9

はじめに

1. 研究背景と目的

中国における年金や医療政策は、都市部と農村部とで二元的政策がとられている。都市部では年金と医療保険制度が確立され、介護サービス、高齢者向けの社会活動など推進される一方で、都市部より高齢化が深刻化している近郊農村部では、地域特徴によって、人口構成もより複雑であり、地域資源の不足や介護サービスの消費力の低さ、介護サービスの供給が不足などの問題がある。そのため、都市近郊農村部における養老サービスの発展が難しい状況がある。しかし、これまでの先行研究は、北京、上海など経済発展の早い中国の一線大都市の近郊農村における高齢者の福祉政策や介護施設の質、介護サービスの充実度などに関する研究が多く、一線大都市と比較して介護サービスの質に格差が存在している三線都市近郊農村に関する研究はほとんど行われていない。また、介護サービスや介護施設の取り組み実態に関わらず、高齢者に要介護になった場合、高齢者とそのこども（主な家族介護者）の介護サービス利用の意向が明確に把握されていない状況がある。

そこで、本研究では、中国の三線都市近郊農村の高齢者の実態調査を行い、高齢者とそのこどもの介護サービス利用の意向と関連要因を明らかにし、三線都市近郊農村の高齢者の介護サービスを支える体制整備に関する提言資料を得ることとした。

2. 研究方法

本研究は中国河北省廊坊市近郊農村に在住する 60 歳以上の高齢者とその子供を対象に、無記名の自記式アンケート調査を実施した。高齢者には、調査現地で調査の目的を説明し同意を得た上でアンケートを行った。一方、子供には村委員会の協力を得て WeChat を通じて募集し、調査協力への同意を得た方にアンケートフォームの URL を提供する形で実施した。

高齢者のアンケートは基本属性、生活実態、介護意識の 3 部分から構成され、性別、年齢、健康状態、介護サービスの認識などについて質問した。子供のアンケートは基本属性、扶養意識、介護意識の 2 部分で構成され、性別、年齢、扶養意識、親の介護意向などについて質問した。

調査結果は SPSS for Windows を用いて分析した。各回答の分布を調べ、基本属性、生活実態、介護意識と介護サービス利用希望との関係を χ^2 検定で分析した。

3. 考察と結論

高齢者の属性、健康状況、経済状況、家族構成、介護意識はサービス利用意向に大きく影響を与えていた。高齢者の年齢が高くなるほどショートステイの利用意向が高まる傾向が確認され、これは加齢に伴う身体機能の低下や日常生活サポートへの依存度の増加が背景にあると考えられる。また、子供の数が少ない場合、家庭内での介護負担が集中し、外部サービスへの依存度が高まる傾向が確認された。同居者の存在も施設入居サービスの利用意向に影響し、同居者がいる場合には施設入居の必要性が相対的に低下することが示された。

親族との連絡頻度はデイサービス、ホームヘルパーサービス、施設入居サービスの利用意向に影響を与え、連絡が頻繁であるほど情報共有や意思決定が円滑になり、サービス利用意向が高まることが確認された。また、友人との連絡頻度が高い高齢者では、心理的安心感や社会的支援を得やすく、ホームヘルパーサービスの利用意向が高まる傾向が見られた。外出頻度においては、外出が多い高齢者ほど施設入居サービスへの適応がスムーズであると考えられた。経済状況も各種サービスの利用意向に影響を与えており、経済的に「ゆとり有り」と感じる高齢者ではショートステイ、デイサービス、ホームヘルパーサービスの利用意向が高くなった。これは、介護サービスが一定の経済的負担を伴うため、経済的余裕がサービス利用意向に積極的な影響を与えていると考えられる。健康状態はデイサービスおよび施設入居サービスの利用

意向に影響を与えており、健康状態が不安定な高齢者ほど外部の介護支援を求める傾向が確認された。

希望する介護生活の形態も利用意向に影響を与えていた。在宅サービスを希望する層ではショートステイやデイサービスの利用意向が高く、家庭を基盤としながら柔軟に外部サポートを取り入れる姿勢が示された。

訪問診療や訪問リハビリテーションにおいては、学歴が低い高齢者ほどサービス利用意向が低下する傾向が見られた。これは、教育水準が情報収集やサービス認知、意思決定プロセスに影響を与えているためと考えられる。

こどもの親に介護サービスを利用させる意向においては、居住地、扶養意識、経済状況、親の健康状態などが重要な要因であった。親とこどもが「同村」に住んでいる場合、訪問型サービスや通院介助、介護相談の利用意向が高まる傾向が示された。一方で、こどもが都市に居住している場合、施設入居サービスを利用させる意向が高まる傾向が確認された。

老親扶養に対する意識もサービスを利用させる意向に影響を与えた。扶養意識が高いこどもは家庭内での介護を優先し、外部サービスの利用を最小限に抑えようとする傾向が見られた。一方で、扶養意識が現実的ではないと感じるこどもは、外部サービスへの依存度が高まる傾向が確認された。

高齢者とそのこどもにおける介護・ケアサービスの利用意向の差異と関連要因を分析し、両者の意識や選択の傾向を明らかにした。総合的に見て、高齢者とそのこどもにおける介護・ケアサービスの利用意向には、介護負担の認識、サービス内容への理解度、経済的要因、健康管理意識が複雑に関わっていることが明らかになった。こどもは実質的な介護負担の軽減や安全性の確保を重視し、外部サービスへの依存に前向きである一方で、高齢者は自立意識やプライバシーの確保を重視し、家庭内でのサポートを優先する傾向が見られた。

本研究では、中国河北省廊坊市近郊農村を対象に、高齢者とそのこどもの介護サービス利用意向および関連要因を分析した。その結果、地域特性として、三線都市近郊農村は都市部へのアクセスが比較的容易である一方で、その利便性が地域内のサービス基盤整備を遅延させる要因となっていることが示された。多くの高齢者は都市部の医療機関に依存する傾向が見られる一方で、交通手段や身体的制約、経済的負担から都市部へのアクセスが困難なケースも多い。また、伝統的な家族扶養意識が根強く、家庭内介護が優先される傾向がある一方、こども世代は都市部での生活や仕事との両立から外部サービスを積極的に活用する姿勢が見られた。このような親子間の意識の違いや地域資源の不足が、介護サービス利用意向に影響を及ぼしていることが確認された。今後は、地域特性を踏まえた柔軟なサービス提供体制の構築が不可欠である。

6. 参考文献

- 1) 臧玉珠、杨园园、曹智. 大都市近郊農村の転換と再構築の典型的モデル分析——天津市東麗区華明鎮を事例として. 地理研究. 2019. 38 (03) : 715-716.
- 2) 王鄢. 「中国都市近郊農村における高齢者の自立度と在宅介護：蘇南農村を対象に」. 北海道大学. 2021.
- 3) 厳善平. 「現代中国農家の人口と労働：農家調査のマイクロデータに基づいて」. 人間文化研究機構 (NIHU) 現代中国地域研究幹事拠点早稲田大学現代中国研究所. 2012
- 4) 韓榮芝, and ハンロンツ. 「中国社会における地域の変容と高齢者福祉の課題—東北地方の農村高齢者の生活実態調査を通して」. 長崎国際大学論叢 12 (2012) : 75-86
- 5) 陳金娣, 新田静江. 「中国農村部の高齢者における在宅ケアサービスニーズと関連要因」 日本公衆衛生雑誌 58. 3 (2011) : 176-182.
- 6) 付鈴. 「我国城市差异化养老模式构建与选择研究」. 内蒙古财经大学, 2019. (付鈴「わが国における都市型差別化高齢者ケアモデルの構築と選択に関する研究」. 内モンゴル财经大学. 2019.)
- 7) 宋伟, 李秀伟, 修春亮. 「航空旅客流動に基づく中国都市階層構造分析」. 地理研究 2008. 04: 917-926
- 8) 中国改革论坛网: 魏后凯: 中国の都市行政等級と規模の拡大
http://www.chinareform.org.cn/area/city/Report/201412/t20141222_214821.html
2014-12-22/2015-11-18
- 9) 鳳凰财经一線から六線まで: 中国の最新の都市区分
http://finance.ifeng.com/a/20140331/12018825_0.shtml 2014-03-31/2015-10-18
- 10) 2015 年搜狐网中国 60 强都市ランキング
<http://mt.sohu.com/20150411/n411185559.shtml> 2015-04-11/2015-10-28
- 11) 沈潔. 「中国の社会福祉改革は何を目指そうとしているのか：社会主義・資本主義の調和」 ミネルヴァ書房. 2014
- 12) 李阳. 「我国不同层级城市养老问题研究」. 福州大学, 2016. (李阳. 「中国における異なる都市レベルにおける高齢者福祉問題の研究」. 福州大学. 2016.)
- 13) 陳金テイ, 新田静江. < 総説 > 中国における地域看護サービスと高齢者の家族介護に関する文献レビュー. 山梨大学看護学会誌 5. 2 (2007) : 7-12.

- 14) 范茜, 周波. 「大城市近郊区农村老年人养老问题探析——以天府新区成都直管区农村为例」. 农村经济与科技, 2017, 28 (09) : 227-230. (范茜, 周波. 「大都市近郊農村における高齢者の介護問題についての分析——天府新区成都直管区農村を例に」. 农村经济与科技, 2017. 29 (09) : 227-230)
- 15) 刘毅, 曹清连. 「城郊养老社区合作开发模式的构想」. 中国城市经济, 2010. (11) : 248-250. (刘毅, 曹清连. 「近郊農村の高齢者コミュニティ共同開発モデルの構想」. 中国城市经济, 2010. (11) : 248-250)
- 16) 王天鹏. 「基于互助理念的北京近郊农村养老模式及其设施研究」. 北方工业大学, 2022. (王天鹏. 「互助の理念に基づく北京近郊の農村高齢者ケアモデルと施設の研究」. 北方工業大学, 2022)
- 17) 王躍生. 「中国家庭代際関係の理論分析」『人口研究』第 32 卷第 4 期. pp. 13-21. 2008 (王躍生. 『中国家庭における世代間関係の理論分析』『人口研究』第 32 卷第 4 号. pp. 13-21. 2008)
- 18) 臧其勝. 「政府福利責任的边界——基于華人社会公衆福利態度的比較研究」『南通大学学报 (社会科学版) 』31 (5) : 110-117. 2015 (臧其勝「政府の福祉責任の境界——華人社会における公共福祉意識の比較研究」『南通大学学报 (社会科学版) 』第 31 卷第 5 号. pp. 110-117. 2015)
- 19) 馮文猛. “出稼ぎ労働者の都市定住意識に関する要因分析—— 2004 年北京・上海の調査より——.” 地域社会学会年報 18 (2006) : 163-180.
- 20) 大泉啓一郎. 「中国の一人っ子政策の規制緩和をどう見るか: 効果は期待出来「未富先老」が現実化」. Rim: 環太平洋ビジネス情報 52 (2014) : 29-39.